

2005年11月1日
株式会社 日立産機システム

日立プログラマブルコントローラ「EH 150 シリーズ」に高速大容量 CPU モジュールを追加 業界トップクラスの演算処理速度 20ns の実現と Ethernet ポート標準装備

株式会社日立産機システム(取締役社長: 椎木清彦)は日立プログラマブルコントローラ「EH-150 シリーズ」に、業界トップクラスの基本命令演算処理速度 20ns 及び Ethernet ポートを標準装備した新型 CPU モジュール「EHV-CPU128」を追加いたします。2005年11月からサンプル提供を開始し、2006年1月から発売を開始します。

プログラマブルコントローラ(以下 PLC)の国内市場は 2005 年度 1,300 億円の市場規模になると想定されており、今後も堅調に推移する見通しです。制御機器においては通信ネットワークを使用するシステムが急速に採用されはじめており、PLC についても小型化、ネットワーク化、高速化のニーズがますます大きくなっています。

このたび発売を開始する CPU モジュール「EHV-CPU128」は、これらのニーズに応えるべく「高速大容量に対応し、ネットワークインターフェイスを標準装備した CPU モジュール」として製品化したものです。専用高速演算プロセッサ搭載により、弊社従来製品比 5 倍の業界トップクラスの基本命令演算処理速度 20ns を実現いたしました。ユーザプログラミング容量を 128k ステップ(弊社従来製品 48k ステップ)とし、複雑かつ大規模化するユーザプログラムを、余裕を持ってプログラミングすることが可能です。プログラムコメントはプログラムメモリと別エリアに格納するので、コメント容量を気にせず、ユーザプログラムエリアは 128k ステップまでフルに使用できます。また、通信ポートは従来のシリアルポートに加え、Ethernet 通信ポートと USB ポートを標準装備し、通信機能を充実いたしました。特に、Ethernet 通信ポートの標準装備により、従来の Ethernet 通信モジュールを使用せずにネットワーク接続を可能にし、集中監視やデータを交換などのシステム構築をより安価に行なうことが可能にするなど、ユーザにとって、より使い易い製品といたしました。

なお、本製品は 11 月 15 日から東京国際展示場(東京ビックサイト)で開催される「システムコントロールフェア 2005」(主催: 社団法人日本電機工業会、社団法人日本電気制御機器工業会)に出展いたします。

CPU モジュール「EHV-CPU128」の主な特長

1. 高速化

専用高速演算プロセッサ搭載により、業界最高クラスの基本命令処理速度 20ns を実現。

2. プログラム容量の大容量化

ユーザプログラム容量を 128k ステップとし、複雑・大規模化するユーザプログラムも残ステップ数を気にせず、余裕をもってプログラミングが可能。

3. コメント格納エリア

プログラムコメントの格納エリアをプログラムメモリと別エリアに設定。コメントを追加しても、プログラム用のメモリ残容量の確認が不要で、ユーザプログラムは 128k ステップまでフルに使用が可能。

4. 通信機能の強化

従来のシリアルポートに加え、100BASE-TX 対応 Ethernet 通信ポートと USB ポートを標準装備。

5. セグメント LED の標準装備

エラーコードを表示するセグメント LED を標準装備。ラダー命令により、タイマ / カウンタ経過値なども表示可能。

6. プログラムシート構造

制御対象単位にラダープログラムを作成できるシート構造を採用し、プログラムの管理・流用を容易にする専用プログラミングソフトウェア「Control Editor」を新たに用意(別売り)。

標準本体価格

EHV-CPU128: 252,000 円(税抜 240,000 円)

Ethernet は富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

本件の照会先

株式会社 日立産機システム 事業本部制御システム事業部 [担当:馬場、博田]
〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3 番地 A K S ビル
TEL (03)4345 - 6072(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
